

令和6年度 第1回避難訓練

令和6年4月23日（火）、新入職者を対象に避難訓練を実施いたしました。

この避難訓練は、患者の搬送方法のほか、災害時の初動対応など様々な状況下における訓練です。



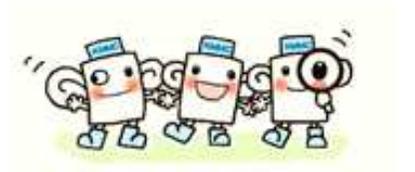
①1人法・2人法デモンストレーション

器具を使用せずに、患者の疾病や意識状態に応じて、適した搬送方法を選択することを学びました。

②消火器・散水栓訓練



散水栓、消火器の使用方法・消火方法について説明した後、実際に使用して消火までの流れを体験しました。



みみたーず

③グループ別訓練

搬送機器の取扱いを習得した上で、実動訓練を実施しました。

(エアーストレッチャー、毛布、ターポリン担架、担架、車椅子)



〈エアーストレッチャー〉



〈毛布〉



〈担架〉

〈ターポリン担架〉



〈車椅子〉

■ 訓練生からの意見

- いかにも患者を避難させることが大変か、机上では理解していたが、実践することで改めて理解することができた。
- どの職種でも有事の対応は迅速かつ確実であることが求められる。定期的に避難訓練を行うことが重要である。
- 声かけをした時としなかった時とで、運びやすさがとても変わった。声かけをしてお互い意思疎通することが重要である。
- 所属課としての役割が把握できなかった。
- 視界不良時に、複雑な院内をスムーズに患者を避難誘導できるのか不安である。

(一部抜粋)